

個別計画推進部会、関係会議 開催状況（議事要旨）

（平成30年度第1回保健福祉協議会（H30.10.11）以降の開催）

東村山市障害者福祉計画推進部会

平成30年度 第2回 平成30年11月15日開催	議事 (1) 障害者福祉計画の進捗報告 (2) 障害福祉計画の進捗報告 ・ 成果目標、障害福祉サービス等の見込量 ・ 地域生活支援事業見込量
	○要旨○ ・ 障害者福祉計画、障害福祉計画についての進捗報告を行った。 （資料2-1、2-2参照） ・ 障害福祉に関する市単独事業再構築検討会の提言書に示された再構築案を踏まえた、市としての再構築の検討状況について報告を行った。市の再構築案について「非常に良い案である」といった発言があり、障害者福祉計画推進部会としては、再構築案が了解された。（資料2-3、2-4参照）

東村山市地域保健計画推進部会

平成 30 年度 第 1 回 平成 30 年 10 月 16 日開催	報告 (1) 平成 30 年度組織について (2) 平成 29 年度実績について 議事 (1) 平成 30 年度重点事業について
	○要旨○ 報告 (1) 平成 30 年度組織について 健康増進課、子育て支援課共に 30 年度組織改正があった。 両課の組織体制の説明を行った。 (2) 平成 29 年度実績について 旧計画の最終年 29 年度の実績について健康増進課、子育て支援課より報告を行った。(計画策定時にはまだ最終年時の実績が出ていない経過があったが、実績から傾向の変更はないということで、昨年度策定した新計画をそのまま今年度から推進していく) 議事 (1) 平成 30 年度重点事業について 平成 30 年度地域保健計画及び母子保健計画の重点事業について健康増進課、子育て支援課より説明を行った。 (資料 3 - 1 資料 3 - 2 参照)

東村山市地域包括ケア推進協議会

平成 30 年度 第 2 回 平成 30 年 11 月 21 日開催	議事 (1) 東村山市地域包括支援センターの運営状況について (2) 介護保険条例の改正について
	○要旨○ 地域包括支援センターの運営状況について、29 年度実績および 30 年度の進捗状況を報告した。介護保険条例について、一部改正を予定していることを説明した。 (資料 4 - 1 参照)

医療・介護連携推進委員会

<p>平成 30 年度 第 2 回 平成 30 年 12 月 13 日開催</p>	<p>議事</p> <p>(1) 医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援窓口の活動状況について ○切れ目ない在宅医療・介護の提供体制の構築・推進について (顔の見える関係づくり・訪問看護の活用) ○地域住民への普及・啓発について <p>(2) 認知症住民への普及・啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症初期集中支援チームの活動状況について ○平成 30 年度の認知症サポーターフォローアップ講座について
	<p>○要旨○</p> <p>(1) 医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討では、在宅療養在宅療養支援窓口と在宅医療連携推進事業の活動状況と 12 月 4 日に助言担当医・歯科医・薬剤師と地域包括支援センターで行った ICT ミーティングについて報告を行った。</p> <p>切れ目ない在宅医療・介護の提供体制の構築・推進については、多職種連携研修の報告を行い、在宅診療医と訪問看護師の連携の現状や顔の見える関係づくりをどのように進めていったらよいか等のご意見をいただいた。</p> <p>地域住民への普及啓発については、11 月 10 日・11 日に市健康のつどいで実施した、「在宅療養コーナー」の報告を行った。</p> <p>(2) 認知症施策に関わる課題の洗い出しとその対応策について検討では、認知症初期集中支援チームの活動状況と認知症サポーターフォローアップ講座（声かけ体験会と徘徊模擬訓練）について報告した。</p>

子ども・子育て会議

<p>平成 30 年度 第 2 回 平成 30 年 12 月 12 日開催</p>	<p>諮問 (1) 第 2 期東村山市子ども・子育て支援事業計画策定について 審議 (1) 子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について 報告 (1) 利用希望把握調査の実施状況について (2) 国の手引きに基づく「量の見込み」の算出方法について</p> <p>○要旨○ 諮問： 平成 32 年度を始期とする第 2 期東村山市子ども子育て支援事業計画について諮問した。 審議 (1)： 前回 (第 1 回) 会議にて、「平成 29 年度版 進捗状況報告書」原案の内容について概ね了解が得られたことを受け、一部修正等を行った当該報告書の最終案を提示し、承認された。(「平成 29 年度版 進捗状況報告書」資料 5-5 参照) 報告 (1)： 計画策定に際し、児童の保護者などを対象に実施した利用希望把握調査の実施状況について報告した。(資料 5-1 参照) 報告 (2)： 第 2 期計画策定に関する実質的な議論が開始された。今後は利用希望把握調査の結果をもとに各事業の「量の見込み」を算出することから、今後の議論の前提として、まずは国の計画作成の「手引き」ではどのような考え方のもとに見込みを行う設計となっているのか等について説明を行い、委員間での認識共有を図った。(資料 5-2 参照)</p>
<p>平成 30 年度 第 3 回 平成 31 年 1 月 31 日開催</p>	<p>審議 (1) 第 2 期東村山市子ども・子育て支援事業計画策定について (継続審議) (2) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について (3) 家庭的保育事業等の認可及び特定地域型保育事業の利用定員の設定について</p> <p>○要旨○ 審議 (1)： 利用希望把握調査の結果をもとに、国の計画作成の「手引き」</p>

	<p>の考え方を踏まえ具体的に算出した「量の見込み」について、前回調査結果と比較してどのような傾向が見られるか等について説明を行った。(資料 5-3 参照)</p>
<p>平成 30 年度 第 4 回 平成 31 年 2 月 25 日開催</p>	<p>審議</p> <p>(1) 第 2 期東村山市子ども・子育て支援事業計画策定について (継続審議)</p> <p>(2) 特定教育・保育施設の利用定員設定の取り下げについて</p> <p>(3) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について</p> <p>報告</p> <p>(1) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について</p> <hr/> <p>○要旨○</p> <p>審議 (1) :</p> <p>国の考え方にに基づき算出した「量の見込み」が当市の実状に照らし妥当なものであるか検証する必要があることから、市の持つ実データを用い、別途独自の行政推計による「量の見込み」をお示しし、推計の考え方などの説明を行った。今後の議論においては両推計結果を比較しながら、より適切な「量の見込み」の算出につなげていくという市の考え方を説明した。(資料 5-4 参照)</p>